

東京芸術劇場presentsブラスウィーク2010

宮川彬良インタビュー

国内外を代表する4つの吹奏楽団が東京芸術劇場に続々と登場する、日本初の芸術週間「ブラスウィーク」。中でもダイナミックかつユーモアたっぷりの演奏で知られるのが「宮川彬良&大阪市音楽団 Dahhhhn!!」だ。14年ぶりの東京公演を行う大阪市音楽団をアーティストック・ディレクターとして率いる作曲家・舞台音楽家の宮川彬良氏に“ゲイゲキ討ち入り”への意気込みをうかがった。

(公演情報は8p 大ホールA)

——今回日本で初めて芸術週間として「ブラスウィーク」が開催されます。

宮川さんは吹奏楽の魅力をどのように感じていますか？

僕は中学・高校で吹奏楽をやっていたわけではなく、大人になってから仕事に関わるようになったんです。だから「吹奏楽は、こうあるべきだ!」という先入観がない。それが逆に僕の強みじゃないですか。学生のバンドに行ったら、僕が言うことに、とにかくなんでも「ハイ!ハイ!!」って、返事だけは良くてビックリ。もっと個々が自発的に音楽する場じゃなくてイイのかって。「吹奏楽」って、人間の生きる源＝「呼吸」が原点にある音楽じゃないですか、その最大の強み、生命感を楽しまなくてどうする!と。だから、僕と大阪市音楽団Dahhhhn!!とのステージも、そのことを念頭に常にチャレンジしています。

——今回は大阪市音楽団と来演されますが、どんな団体でしょう？

市音(大阪市音楽団)はスゴイよ〜! 何がスゴイって、「創立大正12年! (1923年!) 大阪市の直営で、わが国最古の交響吹奏楽団」で、「狭き門を突破して入団した精鋭ぞろい!」なのは当たり前だけど、何より、一人ひとりが自立していて、責任感がある。これは当たり前前で、実はスゴいことです。それはどうやら、団員のほとんどが、中学・高校時代にバンドリーダーや部長を経験しているからじゃないかな。

それから、楽員が団の運営業務も分担しているのも大きな特徴。合奏練習が終わると、みんなパソコンや電話で事務仕事にかかるんですよ。「何してるの?」って聞くと、次の演奏会のチラシの校正や、公演当日のスケジュール表を作ったり、それからチケット予約の電話番号も!

「いま、ここで、自分は何をすべきか」、想像力を一杯働かせて指揮者の欲することに応えてくる。だからバンド全体のサウンドがとても練れてるんでしょね。トランペットの1番(奏者)とトロンボーンの1番が混ざり合うのは当たり前、でも市音は、普通は混ざり合わないような遠い関係のセクション(たとえば、クラリネットの3番とトロンボーンの2番)にも音楽があるんです(*)。市音のサウンドが、何か違うと感じるのはそこじゃないですか。

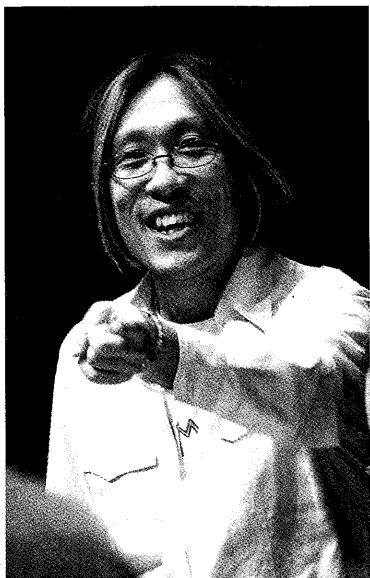
——市音と一緒に活動するようになったきっかけは？

97年、僕が担当した「なみはや国体」の行進曲「Oh! Namihaya」の模範録音を市音が行ったのが最初です。録音に僕は立ち会わなかったけれど、後でCDを聴いて「何じゃコリヤ!?!」とびっくりした。会ったこともない、演奏に注文を出したことも無いバンドが、僕の描いたイメージどおり、いや、それ以上の演奏をしている! それ以来、共演したいと思い続けて、数年後、願いは叶い、今に至る。嬉しい!

——今回のプログラムは、誰しもがどこかで耳にしたことのある曲目を中心に、ご自身で作曲、編曲された楽曲で構成されています。

僕のコンサートは「自作自演」が基本、これは、モーツァルトやベートーヴェンの時代と同じ。今回も演奏する全ての曲は、音符の一つひとつ、

* 多くの楽器が登場する吹奏楽やオーケストラでは、楽器同士の関係にも遠近があり、関連あるリズムや音程を演奏することが多い楽器と、そうでない楽器がある。



宮川彬良 Akira MIYAGAWA
作曲家・舞台音楽家。1961年東京生まれ。東京藝術大学在学中より、劇団四季、東京ディズニーランドのショー音楽を手がける。その後、『身毒丸』『ルビチ』『ムサシ』『ザ・ヒットパレード』などの数々のミュージカル、舞台音楽で読売演劇大賞・優秀スタッフ賞などを受賞。現在、NHK-BS2「どれみふぁワンダーランド」、同教育TV「クインテット」にレギュラー出演中。
<http://akira-miyagawa.com/>

記号一つも、僕が鉛筆なめて(アナログ人間なのよ)書きました。その中でも「ブラック・ジャック」という曲は、手塚治虫さんの「ブラック・ジャック」を題材に作った大掛かりな作品です。手塚さんは、目に見えないことを一生懸命描こうとしていた。目に見えない、つまり「命」って何か。「生きてる」ってどういうことか。

僕は音楽家として、目に見えないものを人に伝えることが使命だと思います。「ソナタ形式」という、クラシック音楽古来の形式と、宇宙から来たような「ブラック・ジャック」が出逢って出来た作品、ぜひ聴いてください。

まあ僕のコンサートは、クラシックなのか民謡なのか、ジャズなのかポップスなのか、曲目だけ見たらよく分からない、実際に聴いても要素の幅が広すぎて、人に感想を伝えるのに困るそうなんです。「でも、とにかくよかったのよ! 楽しかったの!」って(笑)。その「ああ、こういうことか!」っていう「腑に落ちた」感覚って、たぶん聴く側にも創る側にも共通して大切な感覚で、常に意識してますね。

——市音との公演では演奏だけでなく、コンサートホールでしか味わえない、舞台パフォーマンスも見所かと思えます。

アイデアは常に考えてますよ。「何のために」でなく、新しいこと、面白いことをね。市音の場合は、僕の思いつきに、メンバーが「宮川はん、それやったら、こんなことも出来ませ!」とさらにノリノリで、エライことになるんですけど、それは当日のステージでね! 「宮川彬良&大阪市音楽団、ダ、ダ~~~~~ン!」の大江戸初見参(討ち入りジャ~~~~ン!)、気合の入らなからうはずがない! 言ってみれば「アウェイ」ですから、僕たちがここ4年ほどやってきたことの一つの答えを見ることになるでしょう。素晴らしい機会を設けてくださった東京芸術劇場の皆さんに感謝しています。

日本屈指の実力派指揮者を迎え、多彩なレパートリーで魅了 シエナ・ウィンド・オーケストラ 特別演奏会



金聖響

2010年10月24日(日)14:00開演 大ホール (公演情報は8p⑨)
出演: 指揮/金聖響
エレクトーン/内海源太(ゲスト)
シエナ・ウィンド・オーケストラ
曲目: パーンスタイン/スラヴァ!
A.リード/アルメニア・ダンス 全曲
メリーポピンズ(メイン・タイトル) ほか
料金: S-5,500円~B-3,500円
お問い合わせ: サンライズプロモーション東京 ☎0570-00-3337

宮川彬良と日本で最も長い歴史と伝統を誇る吹奏楽団の最強タッグ 宮川彬良&大阪市音楽団Dahhhhn!!



宮川彬良

2010年11月4日(木)19:00開演 大ホール (公演情報は8p⑩)
出演: 作曲・指揮・ピアノ/宮川彬良
サクソフォン/平原まこと(特別ゲスト)
大阪市音楽団
曲目: 宮川彬良/Fun, Fun, Fantastic!, マツケンサンバII
The Five Saxs Concert (見上げてごらん夜の星を)
宮川泰(宮川彬良編曲)/組曲「宇宙戦艦ヤマト」 ほか
料金: S-5,500円~D-1,000円
お問い合わせ: プロアルテムジク ☎03-3943-6677

海外での演奏経験も豊富なプロ吹奏楽団の先駆者 東京佼成ウインドオーケストラ 第106回定期演奏会



ダグラス・ポストック

2010年10月28日(木)19:00開演 大ホール (公演情報は8p⑪)
出演: 指揮/ダグラス・ポストック
アルトサクソフ/須川展也
東京佼成ウインドオーケストラ
曲目: ジャコモ・プッチーニ(真島俊夫)/
歌劇「トゥーランドット」セレクション
E.エルガー(A.リード)/威風堂々 第1番 ほか
料金: S-4,000円~C-1,000円
お問い合わせ: 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 ☎03-5341-1155

数々の名奏者を輩出した“フランスの名門” パリ・ギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団



フランソワ・ブランジェ

2010年11月5日(金)19:00開演 大ホール (公演情報は8p⑫)
出演: 指揮/フランソワ・ブランジェ(首席指揮者)
パーカッション/石川直
パリ・ギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団
曲目: パーンスタイン/「キャンディード」序曲
ハチャトゥリアン/組曲「仮面舞踏会」
ラヴェル/バレエ音楽「ダフニスとクロエ」より第2組曲、ボレロ ほか
料金: S-9,500円~D-3,500円
お問い合わせ: ジャパン・アーツびあ ☎03-5237-7711

チケット各プレイガイドにて好評発売中

◎セット券/国内3楽団公演セット券(10月24日・10月28日・11月4日) 各公演1,000円引き(S席のみ・枚数限定)
東京芸術劇場チケットサービスのみ: 03-5985-1707 <http://www.e-gei.jp/tgg-ts/pt/>

第2回音楽大学オーケストラ・フェスティバル 2010

首都圏音楽大学8校が集う、東京芸術劇場とミュゼ川崎シンフォニーホールの共同イベントが再び!



秋山和慶



高関健



末廣誠



マッシミリアーノ・マテシッチ



黒岩英臣



梅田俊明



三石精一



ダグラス・ポストック

11月6日(土)15:00開演 東京芸術劇場 大ホール (公演情報は8p⑬)

◎洗足学園音楽大学 I.ストラヴィンスキー/「火の鳥」組曲(1919年版)ほか(指揮/秋山和慶)
◎桐朋学園大学 R.シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」作品40(指揮/高関健)

11月27日(土)15:00開演 ミュゼ川崎シンフォニーホール

◎東邦音楽大学 L.v.ベートーヴェン/交響曲 第3番 変ホ長調「英雄」作品55(指揮/末廣誠)
◎昭和音楽大学 O.レスピーギ/交響詩「ローマの松」ほか(指揮/マッシミリアーノ・マテシッチ)

12月5日(日)15:00開演 ミュゼ川崎シンフォニーホール

◎武蔵野音楽大学 J.ブラームス/ドイツ・レクイエム Op.45より(指揮/黒岩英臣)
◎国立音楽大学 J.ブラームス/交響曲第2番ニ長調 作品73(指揮/梅田俊明)

12月11日(土)15:00開演 東京芸術劇場 大ホール (公演情報は10p⑭)

◎東京音楽大学 A.ドヴォルジャーク/交響曲第9番ホ短調 作品95「新世界より」(指揮/三石精一)
◎東京藝術大学 E.エルガー/創作主題による変奏曲「エニグマ(謎)」(指揮/ダグラス・ポストック)
◎両大学による合同オーケストラ O.レスピーギ/交響詩「ローマの祭」(指揮/ダグラス・ポストック)

主催: 音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会
東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
ミュゼ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

後援: 社団法人日本オーケストラ連盟



シモン・ボリバル・ブラス・クインテット



小林英之

東京芸術劇場パイプオルガンコンサートVol.13 「シモン・ボリバル・ブラス・クインテットとパイプオルガンが贈る聖夜」

(公演情報は10p⑮)

今、ラテン・アメリカ発の独特なリズム感覚とソウルフルな演奏で世界から注目を集めているシモン・ボリバル・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ。その中から結成された金管五重奏団が、世界最大級の規模を誇る東京芸術劇場のパイプオルガンとジョイントで贈るスペシャル・クリスマス・コンサート。

出演: シモン・ボリバル・ブラス・クインテット
フランシスコ・フローレス(トランペット)、ジャンカルロ・カストロ(トランペット)、
ラファエル・バイアーレ(ホルン)、ペトロ・カレロ(トロンボーン)、レスヴィ・パントーヤ(チューバ)
小林英之(オルガン)(東京芸術劇場オルガニスト)
曲目: J.クラーク(D.マクスウェル、J.シュネル編曲)/トランペット・ヴォランティアー(デンマーク王子の行進曲)
クリスマス・メドレー ほか

※止むを得ない事情による公演内容の変更の可能性がありますのでご了承ください。
※演奏会が中止された場合を除き、ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はお受けできません。
※未就学児童の入場はお断りしております。

お問い合わせ: 東京芸術劇場 事業企画課事業係 ☎03-5391-2111

2010年12月16日(木) 大ホール チケット発売中
開演: 19:00(18:30開場)
料金: S席3,500円 A席3,000円
ペアS席6,000円(全席指定)

※ペアS席は東京芸術劇場チケットサービス(03-5985-1707)にて前売りのみ取扱い